

事前に提出いただいたご質問

	内容		ページ
1	シニア世代を対象にした「お話会」や外国語を用いた「お話会」について、概略で結構です。その内容や状況、成果などについて教えてください。	菊川委員	17ページ
2	学校への貸し出し状況で毎回〇の学校がありますが、学校図書館司書の配置と関係しているのでしょうか？	菊川委員	
3	学校への貸し出し状況について、峰塚中学校と菅田中学校は、貸し出し数が〇となっている。その原因と対策はどのように考えておられるのか。	菅谷委員	
4	図書館の利用状況で、貸出人数はやはり少しずつ減少しています。図書館を本を借りるところと捉えるなら、人口が減っている中増えるのは難しいと思います。報告書の巻頭にあるように「市民のいきい場」としての図書館になれば、自然と図書館に足が向き、ついでに本も借りる人も増えてくるのではと思います。私にとっても、今の図書館は本を借りるところです。それだけでも、十分にありがたいのですが、憩いの場となればもっとたくさんの市民が足を運んでくれると思います。憩いの場となるような方策があるのでしょうか？	菊川委員	21ページ
5	10代～20代の図書館利用が極端に少ないが、その原因とその世代へのアプローチは、どのように考えておられるのか。	菅谷委員	
6	実績比率Jの令和6年度は、マイナスの数字が大きいと思うが、それはどういうことか。	菅谷委員	23ページ

回答
● シニアのためのおはなし会（おはなしの森） 春と秋 （年2回開催） 素話中心 参加者 春 33名 秋 11名 ・令和6年秋より陵南の森公民館歴史資料室で開催。声が響き聞きやすく参加者には大変好評でしたので令和7年度からも歴史資料室で実施することになりました。 ● 大人のおはなし会（おはなしボランティアグループはびきの） 紙芝居、素話、パネルシアター、絵本 など。 参加者 33名 ・陵南の森公民館2回の視聴覚室にて開催。毎年多くの方々に参加していただいています。 ● 英語のおはなし会 四天王寺大学にご協力のもと、教育学部の小柴先生を紹介いただき令和6年度「えいごのおはなし会」を実施。 子ども8名 大人9名 英語絵本の読み聞かせ、英語うた、手遊びなど。 ・昨年度初めての試みでしたが、イベント後も大人の参加者と先生が、とても楽しくお話されていました。
貸出が〇の河原城中学、峰塚中学、菅田中学の3校については、学校図書館司書が配置されていないので、学校への貸し出し実績と学校図書館司書の配置は関係しているものと考えます。 今年度から、これら3校に兼務ではありますが学校図書館司書が配置されており、河原城中と峰塚中から図書館へ予約が入り、図書の貸出が行われています。
本を借りたり、予約したりするのはもちろんのこと、新聞を読まれる方、DVDを視聴される方、厳しい暑さを避けるため図書館で過ごされる方など、利用形態は様々です。だれもが、気軽にお越しいただける図書館でありたいとの思いから「市民のいきい場」と表現させていただいております。図書館の利用者の多くはリピーターの方であり、普段、図書館を利用されない方にも足を運んでいただき、憩いの場と感じていただけるよう取り組んで参りたいと思います。
若年層の図書館利用が極端に少ないことにつきましては、スマートフォンやSNSの利用増加、勉強が忙しくて本を読む時間がない、書店の減少で本を手にする機会が減ったことなどで、いわゆる読書離れが進んでいることが考えられます。若年層が図書館に足を運んでもらえるよう、参加型、体験型イベントの実施や、夏休みの宿題サポート、ティーンズ向け冊子の配布、図書館を使った調べる学習コンクールへの協力などによりアプローチを行っています。
令和6年度の蔵書数が前年度から9,470冊減少した主な要因については、「たけのこくんボックス」による団体貸出を前年度まで図書データを残したまま行っていたが、資料整理の観点から令和6年度からデータを削除した上で貸出を行うようになったことから大きくマイナスが生じたものです。 実質的な蔵書数は、 11,350冊（たけのこくんボックス貸出）－9,470冊（前年度比）＝1,880冊の増となります。